

命をつなぐ地球環境を

9.16 さようなら原発 全国集会

2024年9月16日(日) 敬老の日

代々木公園B地区(NHKホール横)

JR山手線・原宿駅・渋谷駅、東京メトロ千代田線・明治神宮前駅
千代田線・代々木公園駅、小田急線・代々木八幡駅 下車

11:00 ブース出店

12:00 ミニステージ「気候危機と原発」

13:00 オープニングライブ 片平里菜（シンガーソングライター）

13:30 トークライブ

呼びかけ人 落合恵子さん 鎌田慧さん

佐高信さん 澤地久枝さん

福島から 各地から(女川、東海第二、青森・むつ、柏崎刈羽)

環境団体から

15:00 パレード（渋谷方面・原宿方面）

代々木公園に「脱原発バザール」出現！ 出店者募集中

原発では止められない気候危機!
すべての原発を廃炉に!
「処理水」を海に流すな!
フクシマを忘れない!

東京・代々木公園で、「9.16 さよなら原発全国集会」が開催され、ホテル・観光労連シニアネットからは14名が参加しました。約5000名が参加した集会の様子を紹介します。



主催者挨拶: 佐高信さん「東日本大震災の当日は、東電関係者には避難指示が出ていたが、富岡町の住民にそれはなかったという、置き去りの事実を知った。特権を持っている人たちが私たちの人権を踏みにじったということ。自民党9人の中には原発やめる候補者はおらず、全員落第。人権をもって特権を討つ、その闘いを止めるわけにはいかない」と訴えて集会をスタートさせた。



女川原発再稼働を許さない！みやぎアクション：多々良哲さんの訴えから「年初に能登半島地震が起きて、原発事故時の避難の困難さが浮き彫りになった。女川原発も牡鹿半島に位置していて、再稼働を強行させるわけにはいかない。政府は、宮城県民の反原発世論を、被災した東北のど真ん中で再稼働をすることでつぶそうとしている。見切り発車はゆるさない」



これ以上海を汚すな！市民会議：織田千代さんの訴えから
「漁業者たちとの約束を反故にして放水1年。差し止め訴訟も起こされている。なぜ他の手段ではなく海洋放出だったのか。太平洋諸国からも抗議の声が上がっている」「海はいったい誰のもの？人間だけのものではない」



3・11甲状腺がん子ども支援ネットワーク：阿部ゆりかさんの訴えから
「裁判が続いている間に、再転移や肺への転移が起きている。原告はがんの苦しみだけでなく、大学を中退せざるを得なくなるなど学業や就職の問題など困難を抱えている。小児甲状腺がんは100万人に1人 or 2人発症といわれているが、福島県では38万人に対して300人以上の子どもが甲状腺がんたという。私は原告ではないが、自分自身の裁判だと思って支援を続けていきたい」





東海第二原発運転差し止め訴訟原告団：相樂衛さんの訴えから
「昨年3月の防潮堤不良工事は、内部告発がなければ日本原電はなかったことにしていました。東海第二を再稼働させようと必死だが、信用できない。
今の検査制度はザル、工事は中止、廃炉しかない」



主催者挨拶：落合恵子さん「年を重ねて学んだこと『決してあきらめない』」ということ。永田町祭りでは原発の質問をしないメディアも問題。私たちは原発反対運動続けよう」と呼びかけた。



主催者挨拶：鎌田慧さん「自民党の公約は軍備や原発の増強ばかりで市民生活無視している。世界史に逆行するような政策をやってきた日本政府にさようなら」と呼びかけて閉会した。



環境団体「Fridays for Future Tokyo」：中村千博さん（大学3年生）の訴えから「ある時点から気候変動が止まらなくなることを知った。この世界に自分の未来はあるのかを考え、活動を続けていく」二本木葦智さん（大学1年生）の訴えから「原発再稼働は気候変動対策にもならないし気候正義にも反している。私たちは自由で、力があって、声を出してこそ明日を変えられる」

核の中間貯蔵施設は
いらない！下北の会：
栗橋伸夫さんの訴えか
ら「むつで50年貯蔵した
ら本当に出ていくのか？
どこに出ていくのか？全
く明示されていない。最
終的な貯蔵施設になっ
てしまう可能性が高く、
一貫して反対運動に取
り組んでいる」

「新潟平和運動センター」：有田純也さん
の訴えから「刈羽原発の再稼働について県民の信を問う」と言って
いるが、方法は明らかになっていない。県民の声を届け、知事や
県議会だけでは決めさせない。」